施設のイメージ動画はこちら

燕市　全天候

資料２

全天候型子ども遊戯施設の概要と施設予約・入場システムについて

燕市こども政策部こども未来課

施設概要

2024年2月現在の内容です

施設名称：燕市屋内こども遊戯施設

施設の所在地：燕市大曲2984番地1

敷地面積：10,316.48㎡

延床面積：1,485.81㎡

構　　造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）

階　　数：地上２階

建 築 年：令和７年１月 竣工予定
令和７年３月 供用開始予定

駐車場、駐輪場：駐車台数239台、駐輪場17台程度

施設内容：遊戯スペース、交流スペース、トイレ、
オムツ替え室、ロッカー、授乳室、事務室、等

運営に関する基本情報

2024年2月現在の内容です

利用対象：小学生以下の子どもとその保護者等
（子どもだけ、もしくは大人だけの入場は不可）

利用料金：子ども400円（団体300円）
大人　300円（団体200円）
※燕市に住所を有する人及び市内の団体は無料とする。
※市民（大人）が市民以外の直系卑属（子、孫、ひ孫等）と利用する場合は、受付にて申請書を提出することで、利用料金を免除する。
※子ども（市民以外）が各種障害者手帳の交付を受けている場合は、手帳の提示で、子どもと保護者１人の利用料金を半額とする。保護者（市民以外）が手帳を所有している場合は、本人のみ利用料金を半額とする。

利用定員：220人

休 館 日：水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

開館時間：午前９時から午後５時まで
（７月、８月は午前９時から午後６時まで）

利用時間：〔平日：午前、午後の２クール制〕
午前：午前９時～午後０時30分
午後：午後１時30分～５時
（７、８月は午後１時30分～６時）
〔土･日曜日、祝日：１クール90分の４クール制〕
第１クール：午前９時～10時30分
第２クール：午前11時～午後０時30分
第３クール：午後１時30分～３時
第４クール：午後３時30分～５時
（７月、８月は午後３時30分～６時）

団体利用：・団体利用は10人以上とし、保育園、幼稚園、こども園、小学校、特別支援学校小学部等を対象とする。
・団体が利用できるのは平日のみとし、市内小学校の春・夏・冬休み期間は利用できない。

そ の 他：・安全管理の面から、大人1人につき、子どもは３人まで入場可（団体利用については、条件付きで例外規定を設けます）
・子ども1人につき大人は２人まで入場可
・プレイリーダーを配置予定

管理運営方法：指定管理者制度

広報つばめ10月号の記事より

天候に左右されず、思いっきり遊べる。
全天候型子ども遊戯施設
令和６年度末にオープン予定！

ワケ 02

●問合せ こども未来課　☎ 0256・77・8225

子育て世代の視点を取り入れた設計
子どもも大人もワクワクする遊び場

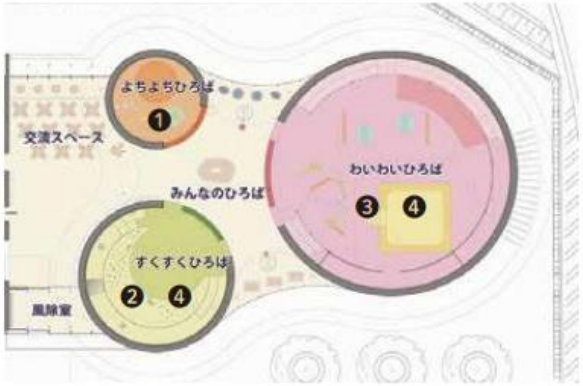
屋内で思いっきり体を動かして遊べる施設が令和６年度末、交通公園・こどもの森の隣接エリア（大曲）にオープン予定です。

施設の外観は、窓から内部で遊ぶ子どもの姿が見え、施設を訪れる人がワクワクするようなデザインとなっています。

遊戯スペースは、年齢による身体機能の違いや興味のある遊具の違いから、年齢ごとに「よちよちひろば」「すくすくひろば」「わいわいひろば」の３つのエリアに分かれています。子ども一人ひとりの成長、個性に合わせた遊びを楽しむことができます。

また、雨や雪の日でも、駐車場から館内へ移動しやすいよう、駐車場と歩行者用通路には屋根があり、子育て世代の視点を取り入れた設計となっています。

施設内のイメージを紹介



❶よちよちひろば（主な対象0～2歳）

クッションブロックなどの柔らかい素材の遊具で、子どもが保護者と一緒に遊べるスペースです。

❷すくすくひろば（主な対象3～5歳）

ロープのぼりやすべり台など、保護者が子どもに寄り添いながら安心して遊ぶことができます。

❸わいわいひろば（主な対象6歳～12歳）

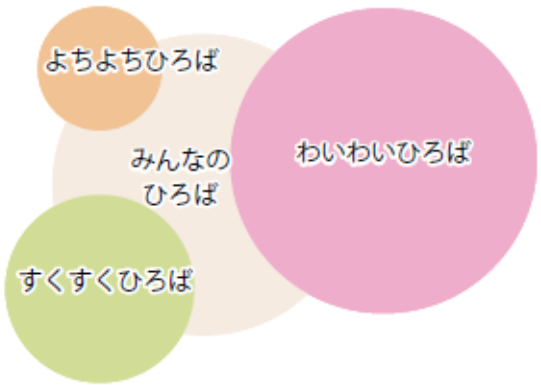
クライミングやエアトランポリンなど、子どもがチャレンジしたくなる遊具で楽しむことができます。

❹ネット遊具（2階）

「すくすくひろば」「わいわいひろば」の上部に「ネット遊具」を設け、子ども同士の交流を促します。

設計のコンセプト

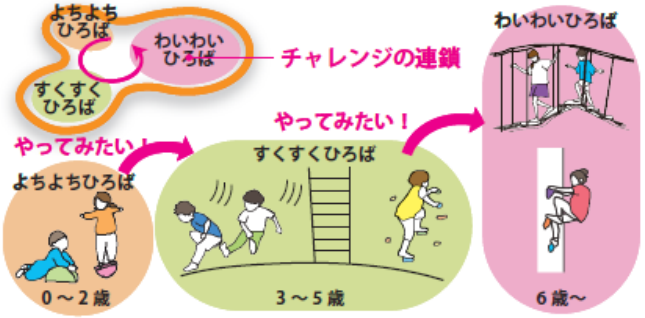
子どもたちの成長にあわせた「３つのひろば」



体格、運動能力、成長度合が異なる子どもたちが、それぞれの成長に応じた遊びができます。

インクルーシブな遊び場

ゆるやかにつながる「３つのひろば」



小さな子どもたちから年上の子どもたちの遊びが見えるレイアウトにすることで、より活発な遊びにチャレンジしたくなる環境にしています。

障がいの有無だけではなく、成長速度や感性の違いなど、子どもたちがそれぞれの個性を尊重し、交流を通して互いを理解し合えるインクルーシブな遊び場です。

施設予約・入場システム

本施設の年間入場者数は、年間10万人を見込んでおり、週末などの休日を中心に満員になることが想定されます。
県内外の類似施設においても、週末などは順番待ちの行列ができたり、満員で入場できないなどの状況が確認されました。本施設では、利用される皆さんがストレスなく快適にご利用いただけるよう、オンラインで施設予約ができ、職員を介さずにスムーズに利用料金の支払いや入場ができる「施設予約・入場システム」を導入します。

システムの利用イメージ

自宅などで

・利用者登録
・本人確認
・施設予約
・利用料金のキャッシュレス決済

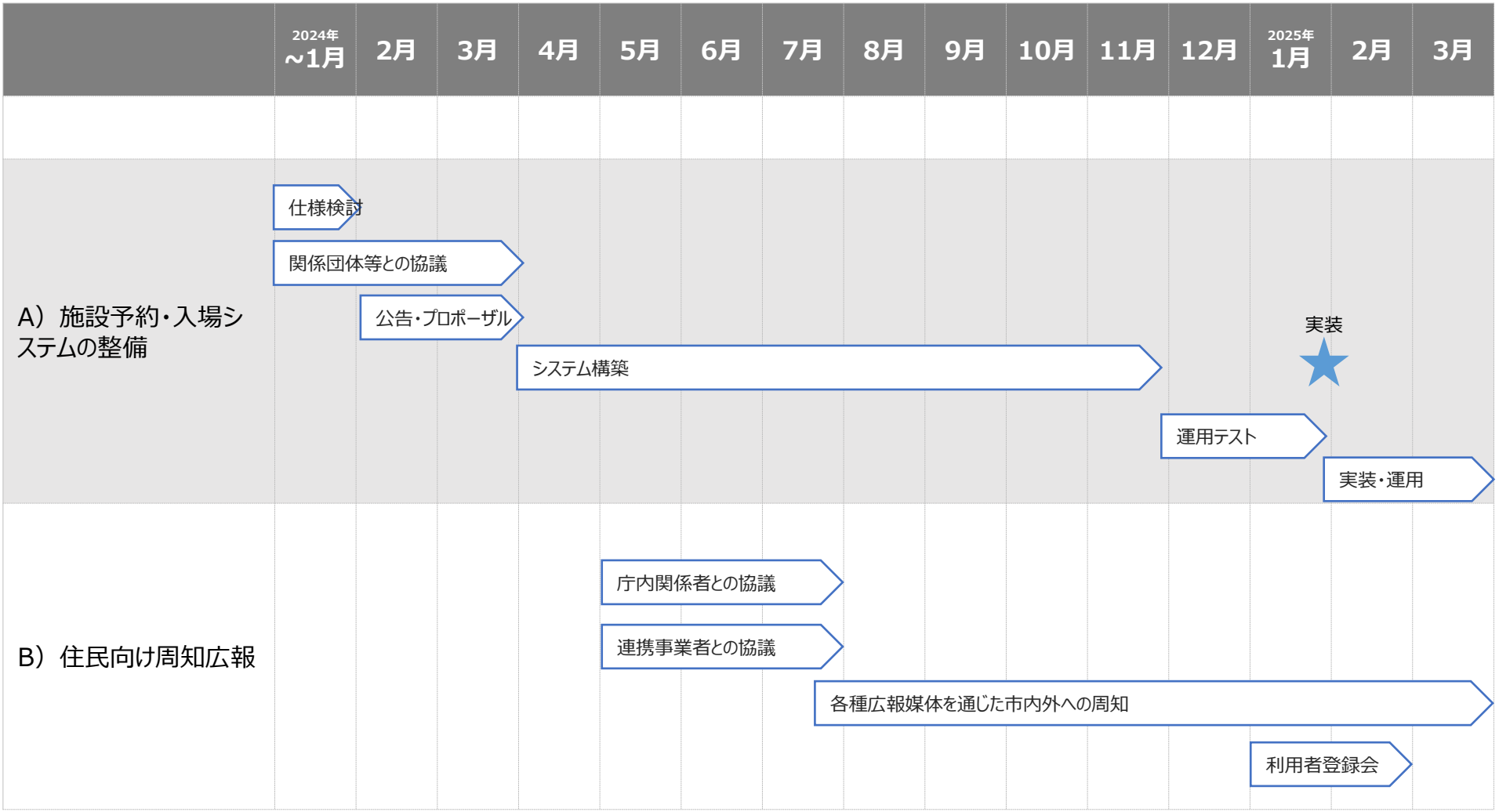
施設で

・非対面入場管理
（顔認証、QRコード等）
【予約のない人向け】
・当日予約機能
・利用料金のキャッシュレス決済機能
・入場管理機能

入場方法のイメージ

券売機（イメージ）
スマホ画面の予約済QRコードを発券機で読込み、入場券を発行。市民以外は利用料金も支払い。

入場ゲート（イメージ）
入場券に記載された入場用QRコードをかざし、遊戯スペースに入場。

施設予約・入場システム

実装計画（実装までのプロセス・スケジュール